

No.	事務事業名		空港周辺地域環境整備事業				所属部	溝辺総合支所
							所属課	地域振興課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	境田 秀紀
	施策名	0 2	生活環境の向上				所属G(係)	地域振興G
	基本事業名	0 1	環境衛生の向上				電話番号	59-3111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 鹿児島空港周辺地域環境整備基金条例 鹿児島空港周辺地域環境整備事業空気調和機器設置費補助金交付要綱	
	一般	0 2	0 1	0 9	18040	空港周辺環境整備事業		
	一般	0 2	0 1	0 9	18045	住宅騒音防止対策事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

空港周辺の航空機騒音に対する住民への生活環境対策として、騒音により閉めきることが多くなる室内の空気をきれいにするためのクーラー設置に対する補助、騒音によって聞きづらくなるテレビに対してNHKの受信料を補助している。クーラーについては国の法律を参考に昭和57年3月30日を基準に実際に所在する住宅を対象に既に全世帯に設置されており、現在は設置後10年を経過したクーラーの故障により、新たに買い換える方の申請に基づき修理不可能判定、完成検査を行い設置費用を補助。テレビ受信料補助については、毎年対象地域の世帯を調査し、申請を受け付けてNHK受信料の支払実績を検査し補助している。財源である基金については県の補助金が含まれており、事業については県へ提出した補助事業計画に基づき実施している。

事業期間

単年度のみ

単年度繰返
↳ (H 5 年度 ~)

期間限定複数年度
↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
19年度実績(19年度に行った主な活動) 空気調和機器機能回復補助(クーラー更新)14台(補助率95%) テレビ受信料補助319件(カラー契約2,820円)		ア	クーラー設置費助成台数
20年度計画(20年度に計画している主な活動) 前年度と同様		イ	テレビ受信料補助件数
20年度計画(20年度に計画している主な活動) 前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
基金事業対象区域の世帯 <補助金交付先>基金事業対象区域の世帯 <補助対象活動>空気調和機器機能回復、テレビ受信料補助の経費		ア	基金事業対象区域の世帯数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 生活環境を向上させる。		イ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 生活環境に関する問題が解決できる。		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	クーラー設置費助成台数
		イ	テレビ受信料補助件数
		ウ	生活環境が向上した世帯数(助成世帯数)
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	苦情相談対応に対する満足度
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	1,937	2,796	5,164		
		一般財源	千円					
事業費計(A)		千円	1,937	2,796	5,164			
活動指標		ア 台	8	14	15	22	22	22
		イ 件	316	319	320	320	320	320
		ウ						
対象指標		ア 世帯	825	837	825	840	840	840
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 台	8	14	15	22	22	22
		イ 世帯	316	319	320	320	320	320
		ウ 件	324	333	335	344	344	344
上位成果指標		ア %	79.5	75.1	82.0	84.0	86.0	88.0
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成4年に鹿児島空港の運用時間が20時30分から21時30分まで延長されることとなり、周辺住民においては更に航空機の騒音被害に悩まされることから、生活環境被害対策として県と旧溝辺町、旧隼人町が出資して基金を創設、創設当時の基金事業計画を基に事業を実施している。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
基金創設当初は利息(果実)で運用できる見込みであったが、金利の低下によって利息積立金より取り崩しが大幅に上回っている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
基金事業については幅広い活用を要望する意見がある一方、事業を永續させるために初期の事業計画に基づき実施し、また増資(積立)を求める声がある。テレビ受信料助成については領収書の提出など申請が面倒であるとの意見がある。

事務事業名	空港周辺地域環境整備事業	所属部	溝辺総合支所	所属課	地域振興課
-------	--------------	-----	--------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 空港周辺の航空機騒音に対する住民への生活環境対策であるため、市の政策体系である環境衛生の向上に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 対象地域の生活環境被害対策であるため、市が行うべきである。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象が空港周辺の世帯であるため、追加する余地がない。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 空調調和機器機能回復事業、テレビ受信料補助ともに対象が限定されているため、向上余地はない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 始まったきっかけが、航空機の運用時間延長対策であるため、廃止・休止した場合は住民からの猛反発が予想される。また、市の政策との整合性が取れなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 空港所在地としての事業であるため、他に統廃合・連携できる類似事業もない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ クーラー1台及びテレビ受信料1件あたりの補助率を削減することは可能であると思われるが、地元住民の相応な理解と協力が必要と思われる。また、クーラーの補助額は国土交通省が定める住宅防音工事単価(187,100円)を限度額としているが、平成20年度の1台あたりの平均は137,000円で実施しており、クーラー設置業者もいっぱいという状況であることから削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 担当職員は兼務で様々な業務を行っており、最低限の業務時間にとどめている。両補助とも既に臨時職員の協力をもらって行っている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 対象世帯及び対象地区が限定されて一部の受益者の偏っているが、空港周辺の騒音対策事業であるため不公平ではない

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	航空機騒音対策、空港周辺環境整備として実施されているが、対象住民の感情緩和対策として意味合いもある。今後も継続して実施していくことが望ましい。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							

No.	事務事業名	花いっぱい運動推進事業				所属部	総務部			
	政策名	0	2	自然にやさしいまちづくり		所属課	総務課			
	施策名	0	2	生活環境の向上		課長名	阿多 己清			
	基本事業名	0	2	地域美化活動の促進		所属G(係)	市民運動推進室			
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠			
	一般	0	2	0	1	0	1	10010	市民運動推進費	なし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
暮らしの中に花を育て、愛し、親しむことによって、優しい心を培いながら、美しい「花いっぱい」の霧島市をつくるため、花の苗の助成、花いっぱいコンクールの実施、市花の普及(花タバコの鉢植えの配布、学校への苗の配布)、花の育成講習会を行う。 花いっぱい運動を推進する団体として登録の上、公園、学校、市道、集落内の公共施設の周辺部に花を植え、管理までを住民に行ってもらっている。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 45 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 19年度実績(19年度に行った主な活動) ・花の苗の助成 ・花いっぱいコンクールの実施 ・花の育成講習会の実施 20年度計画(20年度に計画している主な活動) 昨年度と同様。 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 花いっぱい運動を推進する団体(自治公民館、老人クラブ、子ども会、企業等) 市内小・中学校 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 公共の場(市道や公園、学校等)を花いっぱいの美しい状態に保つ活動を行う。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 地域美化活動に取り組む。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 花の苗の助成本数</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>イ 花いっぱいコンクール参加団体数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>ウ 市花の苗、鉢植えの配布数</td> <td>本</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 花いっぱい運動を推進する団体の数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>イ 市内小・中学校の数</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 花いっぱい活動により植栽された学校の数</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>イ 花いっぱい活動により植栽された公園の数</td> <td>園</td> </tr> <tr> <td>ウ 花いっぱい運動により植栽された市道の数</td> <td>箇所</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 美化活動参加者数の割合(年に数回)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ 美化活動参加者数の割合(月に数回以上)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 花の苗の助成本数	本	イ 花いっぱいコンクール参加団体数	団体	ウ 市花の苗、鉢植えの配布数	本	対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 花いっぱい運動を推進する団体の数	団体	イ 市内小・中学校の数	校	ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 花いっぱい活動により植栽された学校の数	校	イ 花いっぱい活動により植栽された公園の数	園	ウ 花いっぱい運動により植栽された市道の数	箇所	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 美化活動参加者数の割合(年に数回)	%	イ 美化活動参加者数の割合(月に数回以上)	%	ウ	
名称	単位																																								
ア 花の苗の助成本数	本																																								
イ 花いっぱいコンクール参加団体数	団体																																								
ウ 市花の苗、鉢植えの配布数	本																																								
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 花いっぱい運動を推進する団体の数	団体																																								
イ 市内小・中学校の数	校																																								
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 花いっぱい活動により植栽された学校の数	校																																								
イ 花いっぱい活動により植栽された公園の数	園																																								
ウ 花いっぱい運動により植栽された市道の数	箇所																																								
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 美化活動参加者数の割合(年に数回)	%																																								
イ 美化活動参加者数の割合(月に数回以上)	%																																								
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	4,154	3,842	4,135		
		事業費計(A)	千円	4,154	3,842	4,135		
活動指標	ア 本	85,970	84,800	90,000	95,000	100,000	105,000	
	イ 団体	40	50	55	60	65	70	
	ウ 本	2,000	2,000	0	0	0	0	
対象指標	ア 団体	200	200	200	210	220	230	
	イ 校	46	46	46	46	46	46	
	ウ							
成果指標	ア 校	46	46	46	46	46	46	
	イ 園	20	30	33	35	37	40	
	ウ 箇所	20	25	30	32	35	37	
上位成果指標	ア %	56.8	58.0	60.0	63.0	65.0	68.0	
	イ %	8.6	8.8	9.9	9.2	9.5	9.7	
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
市民が暮らしの中に花を育て、愛し、親しむ気運を醸成するため、花いっぱいコンクールを昭和45年度から実施している。また、平成8年度からは市花の普及、平成14年度から花の育成講習会、平成16年度からは花の苗助成を実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
花いっぱいコンクールの参加団体及び市道や公園等に花を植えるボランティア団体が増加している。また、活動の場が公園、市道などの公共施設へと拡大したことに伴い、その目的が市民個人の活動から公共の場を市民が市と協働して管理するという現在の目的へと変化してきた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
花の苗を助成するようになって多くの団体が、ボランティアで市道や公園に花を植えられるようになり、団体からは喜ばれている。	

事務事業名	花いっぱい運動推進事業	所属部	総務部	所属課	総務課
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 学校内は、学校が植栽を行っている。公園に関しては、一部ではあるが、市が管理者として植栽を実施しているところもある。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘ 学校に関しては、植栽の一部に花いっぱい運動があるという認識で取り組まれており、実質的には一本化した活動が展開されている。公園に関しては、独自に行っているのは一部であり、ほとんどの公園は本事業として植栽されている。			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 直接受益を受けているものは、花いっぱいを推進する団体であるが、その花は公共の場に植栽されるため、受益者は広く市民と考えられ、改めて受益者負担を求める必要はない。また、市道や公園等に花を植える花いっぱいを推進する団体への必要な数だけの原材料支給であり、肥料代、人件費等は傘下団体が負担している。また、参加する団体への門戸は開いており、適正なものである。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																			
(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	昨年度から全市に広げた事業であり、各地域で推進団体の数にばらつきがある。全市的な事業となるには、広報活動や推進団体の掘り起こし等が必要である。																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																			
花いっぱいを推進するボランティア団体の増加は、高齢化等により難しいが、子ども会、企業等の参加や環境美化里親を活用することにより解決される。																			

No.	事務事業名			錦江湾クリーンアップ事業			所属部	企画部
							所属課	企画政策課
政策体系	政策名	0	2	自然にやさしいまちづくり			課長名	川村 直人
	施策名	0	2	生活環境の向上			所属G(係)	企画政策G
	基本事業名	0	2	地域美化活動の促進			電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	0	2	0	1	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
鹿児島県が展開する錦江湾みらい総合戦略の一環として、錦江湾に多くの人々が訪れる夏季を前に湾岸各地の海岸で清掃活動に取り組む事業で、本市では国分下井海岸、隼人小浜海岸、福山港周辺海岸で実施している。 清掃実施前に広報誌及びホームページで市内外への周知を行うとともに前年度参加団体、市内各学校へ実施案内を行う。清掃作業は早朝1時間弱かけて行うが、ゴミが無くなり次第終了となる。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 12 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 19年度実績(19年度に行った主な活動) 市内3会場にて実施(県内14会場のうち) 7/1 国分下井海岸清掃 7/8 隼人小浜海岸清掃 7/16 福山港周辺海岸清掃 20年度計画(20年度に計画している主な活動) 前年度と同様 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・市内の錦江湾岸 ・市内外に居住している人 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・錦江湾岸からゴミを失くす ・錦江湾岸を美しく保つ意識を持ってもらう 結果(どんな結果に結び付けるのか) 地域美化活動に取り組む		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 清掃会場数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 海岸総延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>イ 市内に居住している人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア ゴミ収集量</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td>イ 清掃参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 美化活動参加者数の割合(年に数回)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 清掃会場数	箇所	イ		ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 海岸総延長	m	イ 市内に居住している人	人	ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア ゴミ収集量	t	イ 清掃参加者数	人	ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 美化活動参加者数の割合(年に数回)	%	イ		ウ	
名称	単位																																								
ア 清掃会場数	箇所																																								
イ																																									
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 海岸総延長	m																																								
イ 市内に居住している人	人																																								
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア ゴミ収集量	t																																								
イ 清掃参加者数	人																																								
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 美化活動参加者数の割合(年に数回)	%																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	911	404	229		
	事業費計(A)	千円	911	404	229			
活動指標		ア 箇所	3	3	3	3	3	3
対象指標		ア m	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650
		イ 人	127,615	127,773	128,128	128,383	128,640	128,868
成果指標		ア t	5	5	5	5	5	5
		イ 人	1,330	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
上位成果指標		ア %	56.8	51.4	60.0	63.0	65.0	68.0
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成10年、鹿児島県及び湾岸自治体等で構成する「錦江湾みらい総合戦略推進協議会」が設立され、平成12年から清掃活動に取り組むこととなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 毎年恒例の清掃活動として定着している。平成17年以降は市町村合併により周知範囲が広がり、参加者が増えた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 早朝からの作業にも関わらず、意欲ある固定参加者も数多く見られ、海岸管理者からも喜ばれている。	

事務事業名	錦江湾クリーンアップ事業	所属部	企画部	所属課	企画政策課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 錦江湾岸を美しく保つ意識を市民に持ってもらうことは、住民が地域美化活動に取り組むきっかけとなる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 市民の環境美化に関する意識の向上、普及啓発を図ることは「霧島市生活環境美化条例第3条 市の責務」にも謳われており、市が税金を投入することは妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 清掃作業参加者は市内居住者のみにとどまらず、市外からも参加申し込みが多くある。清掃対象地域は参加者の安全を考慮の上、湾奥の3海岸を選択しており対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 清掃作業は早朝1時間弱かけて行うが、ゴミが無くなり次第終了となる。参加者数についても、海岸収容人数や駐車場の収容台数に限りがあるため、現状維持が望ましい。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 市民に広く認知され、定着した清掃活動であり、市民の環境美化に関する意識の向上の大きなきっかけとなる全市的イベントである。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ この事業は、鹿児島県と湾岸9市町、関係団体からなる協議会事業の一環として実施され、錦江湾岸地域の環境保全を図る目的で湾岸地域が一体となって海岸清掃に取り組む活動であるため。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ この事業は、鹿児島県と湾岸9市町、関係団体からなる協議会事業の一環として実施され、構成市町の負担金を財源としているが、協議会事業の縮小により既に事業費を削減している。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事前広報、清掃当日の会場設営、ゴミ処理・運搬等を必要最小限の人数で行っているため。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 市内外の住民が誰でも参加でき、清掃後の海岸では誰でも海洋レジャーに興じることができるため。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	業務継続・廃止・改善については、錦江湾みらい総合戦略推進協議会担当者会において毎年意見交換が行われ、その協議の結果として決定される。 (事務局:県地域政策課) 本市が独自に方針を決定することができないため、現段階では不明。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 錦江湾みらい総合戦略推進協議会の運営方針については、各構成自治体間の協議結果に基づくものとなっており、本市が独自に方針を決定することができないため現段階では不明。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし
--